

古代学学術研究センター・研究会
都市を生きる人びと

日 時： 8月5日（木）15:00～19:00

会 場： F棟2階 生活環境学部中会議室

学務課の前の廊下を北へ

報 告： 京職による京内人民の管理

宍戸 香美（人間文化研究科比較文化学専攻）

古代和歌と庭園—萬葉後期を中心に—

奥村 和美（文学部言語文化学科）

奈良女子大学古代学学術研究センターでは、21世紀COEプログラムの成果をふまえ、「都市」をひとつのキーワードとして研究を進めていますが、今回は国文学と日本史学、異なる方法を駆使して、平城京という都市とその時代に迫ります。

まず宍戸報告においては、京が多くの官人が住み、諸国の国司や税を運搬する百姓らが入り出りするなど、多様な人間が存在する場と捉えられ、そうした京における人民の実態と、京内行政を担い、彼らに対峙する京職の姿が考察されます。

続く奥村報告では、平城京遷都後すなわち萬葉後期、庭園の造築の盛行にともなって、和歌表現がどのように変化したかという問題が、『萬葉集』の作品をもとに論じられます。

大学院生・学生のみなさんのご参加をお待ちしています！

問い合わせ先： 舘野 和己（0742-20-3307）